

介護福祉士学校自己点検表

養成施設名:

課程の別: 昼間・夜間・通信・その他()

修業年限: ()年

- 法 ……社会福祉士及び介護福祉士法
 施行令…社会福祉士及び介護福祉士法施行令
 施行規則…社会福祉士及び介護福祉士法施行規則
 指定規則…社会福祉士介護福祉士学校指定規則
 指 針…社会福祉士及び介護福祉士学校の設置及び運営に係る指針
 福祉系高等学校等の設置及び運営に係る指針

本表は養成施設等の適正な管理・運営に資するため作成したものであり、定期的に更新を行いますが、諸般の事情により更新が遅れる場合もありますので、各養成施設等においては直近の法令や通知等によりご確認のうえ、ご活用ください。(平成29年4月3日作成)

点検項目	判定	確認書類
<p>1 入学、既履修単位の認定に関する事項</p> <p>(1) 入学定員を超過して学生を受け入れていないか。 (介護福祉士学校の設置及び運営に係る指針(6-(1)))</p> <p>(2) 入所資格を有しないものを入所させていないか。(各課程の要件のいずれかに該当するか。) (社会福祉士介護福祉士学校指定規則第5条第1号、第6条第1号、第7条第1号)</p> <p>1)社会福祉士及び介護福祉士法第39条第1号に規定する学校養成施設 ・学校教育法第90条第1項の規定により大学に入学することができる者</p> <p>2)社会福祉士及び介護福祉士法第39条第2号に規定する学校養成施設 ・学校教育法に基づく大学において法第39条第2号に規定する社会福祉に関する科目を修めて卒業した者 ・学校教育法第90条第1項の規定により大学に入学することができる者であって、社会福祉士短期養成施設若しくは社会福祉士一般養成施設を卒業した者</p> <p>3)社会福祉士及び介護福祉士法第39条第3号に規定する学校養成施設 ・学校教育法第90条第1項の規定により大学に入学することができる者であって、指定保育士養成施設を卒業した者</p> <p>(3) 他の学校等における、既履修科目の認定は適切か。 (介護福祉士学校の設置及び運営に係る指針(6-(5)、6-(6)))</p> <p>他の養成施設等において履修した科目については、各介護福祉士養成施設において、生徒からの申請に基づき、履修科目の教育内容を当該養成施設の教育内容に照らし、当該教育内容に相当すると認められる場合には、当該養成施設における科目の履修に代えて差し支えない。</p> <p>他の学校等(他資格養成施設等)において履修した科目については、各介護福祉士学校において、履修科目の教育内容を当該養成施設の教育内容に照らし、当該教育内容に相当すると認められる場合には、領域「介護」に係る科目を除き、当該養成施設における科目の履修に代えて差し支えない。</p>	<p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学則 ・募集要項 ・入学資格 ・確認書類 ・科目認定 ・規程類 ・科目認定 ・関係資料

介護福祉士学校自己点検表

点検項目	判定	確認書類																																																																		
<p>2 施設設備等に関する事項</p> <p>(1) 指定規則等で備えることとなっている部屋があるか。(1)～5)までの要件はすべて満たすこと。 (社会福祉士介護福祉士学校指定規則第5条第11号～第13号) (介護福祉士学校の設置及び運営に係る指針(2-(4)～2-(9)))</p> <p>1) 普通教室(同時に授業を行う学級の数を下らない数。) 生徒1名当たり1.65㎡(内法)</p> <p>2) 介護実習室 1ベッド当たり11.0㎡(内法)及び6畳又は8畳の和室。</p> <p>3) 入浴実習室 生徒1名当たり1.65㎡(内法)及び家庭浴槽、シャワー設備、給排水設備</p> <p>4) 家政実習室 生徒1名当たり1.65㎡(内法)及び生徒6人に付き1台の調理設備、裁縫作業台。</p> <p>5) 図書室 閲覧設備、検索機器等の整備がされているか。</p> <p>6) その他 保健室、更衣室、演習室、学生等相談室等の設備を設けることが望ましい。</p> <p>(2) 承認されていない部屋を使用していないか。また、承認のない変更を行っていないか。</p> <p>(3) 必要とされる教育用機械備品は整備されているか。 (社会福祉士介護福祉士学校指定規則第5条第13号) (介護福祉士学校の設置及び運営に係る指針(2-(10)))</p>	<p><input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・申請時の 平面図 ・校舎各室の 一覧表 ・備品類目録 ・図書目録 																																																																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">必要な教育用機械器具</th> <th style="width: 10%;">必要数</th> <th style="width: 60%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実習用モデル人形</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td>体位変換、清拭等実習に適したもの。</td> </tr> <tr> <td>人体骨格模型</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成人用ベッド(ギャッジベッド含む)</td> <td style="text-align: center;">生徒5人に1</td> <td>手すりを備えること</td> </tr> <tr> <td>移動用リフト</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>床走式、固定式、据置式いずれも可</td> </tr> <tr> <td>スライディングボード・マット</td> <td style="text-align: center;">適当数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>車椅子</td> <td style="text-align: center;">生徒5人に1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>簡易浴槽</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>移動できるもので、浴槽が硬質のもの。</td> </tr> <tr> <td>ストレッチャー</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>排せつ用具</td> <td style="text-align: center;">適当数</td> <td>ポータブルトイレ、尿器等</td> </tr> <tr> <td>歩行補助つえ</td> <td style="text-align: center;">適当数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>盲人安全つえ</td> <td style="text-align: center;">適当数</td> <td>普通用と携帯用</td> </tr> <tr> <td>視聴覚機器</td> <td style="text-align: center;">適当数</td> <td>テレビ、ビデオ、OHP、プロジェクター等</td> </tr> <tr> <td>障害者用調理器具・食器</td> <td style="text-align: center;">適当数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>和式布団一式</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸引装置一式</td> <td style="text-align: center;">適当数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経管栄養用具一式</td> <td style="text-align: center;">適当数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>処置台又はワゴン</td> <td style="text-align: center;">適当数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸引訓練モデル</td> <td style="text-align: center;">適当数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経管栄養訓練モデル</td> <td style="text-align: center;">適当数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>心肺蘇生訓練用器材一式</td> <td style="text-align: center;">適当数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人体解剖模型</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>全身模型とし、分解数は問わない。</td> </tr> </tbody> </table>			必要な教育用機械器具	必要数	備考	実習用モデル人形	2	体位変換、清拭等実習に適したもの。	人体骨格模型	1		成人用ベッド(ギャッジベッド含む)	生徒5人に1	手すりを備えること	移動用リフト	1	床走式、固定式、据置式いずれも可	スライディングボード・マット	適当数		車椅子	生徒5人に1		簡易浴槽	1	移動できるもので、浴槽が硬質のもの。	ストレッチャー	2		排せつ用具	適当数	ポータブルトイレ、尿器等	歩行補助つえ	適当数		盲人安全つえ	適当数	普通用と携帯用	視聴覚機器	適当数	テレビ、ビデオ、OHP、プロジェクター等	障害者用調理器具・食器	適当数		和式布団一式	1		吸引装置一式	適当数		経管栄養用具一式	適当数		処置台又はワゴン	適当数		吸引訓練モデル	適当数		経管栄養訓練モデル	適当数		心肺蘇生訓練用器材一式	適当数		人体解剖模型	1	全身模型とし、分解数は問わない。
必要な教育用機械器具	必要数	備考																																																																		
実習用モデル人形	2	体位変換、清拭等実習に適したもの。																																																																		
人体骨格模型	1																																																																			
成人用ベッド(ギャッジベッド含む)	生徒5人に1	手すりを備えること																																																																		
移動用リフト	1	床走式、固定式、据置式いずれも可																																																																		
スライディングボード・マット	適当数																																																																			
車椅子	生徒5人に1																																																																			
簡易浴槽	1	移動できるもので、浴槽が硬質のもの。																																																																		
ストレッチャー	2																																																																			
排せつ用具	適当数	ポータブルトイレ、尿器等																																																																		
歩行補助つえ	適当数																																																																			
盲人安全つえ	適当数	普通用と携帯用																																																																		
視聴覚機器	適当数	テレビ、ビデオ、OHP、プロジェクター等																																																																		
障害者用調理器具・食器	適当数																																																																			
和式布団一式	1																																																																			
吸引装置一式	適当数																																																																			
経管栄養用具一式	適当数																																																																			
処置台又はワゴン	適当数																																																																			
吸引訓練モデル	適当数																																																																			
経管栄養訓練モデル	適当数																																																																			
心肺蘇生訓練用器材一式	適当数																																																																			
人体解剖模型	1	全身模型とし、分解数は問わない。																																																																		

介護福祉士学校自己点検表

点検項目	判定	確認書類																																																																																		
<p>3 教員等に関する事項 (社会福祉士介護福祉士学校指定規則第5条(第4号～第9号の2)) (介護福祉士学校の設置及び運営に係る指針(7-(1)～7-(4)))</p> <p>(1) 専任教員の数は不足していないか。 (学生の総定員)80人まで…3名、120人まで…4名、160人まで…5名、200人まで…6名 201人以上…6+(学生の総定員-200)÷50名以上であること。</p> <p>(2) 専任教員は、1)～3)のうちいずれかに該当する者であること。 1)介護福祉士、医師、保健師、助産師、看護師又は社会福祉士の資格を取得した後5年以上の実務経験を有する者 2)大学院、大学、短期大学又は高等専門学校において、教授、准教授、助教又は講師として、その担当する教育に関し教授する資格を有する者 3)専修学校の専門課程の教員として、その担当する教育に関し3年以上の経験を有する者</p> <p>(3) 専任教員のうち1人は、すべての領域に関する教育課程の編成等の教務に関する主任者とし、介護教員講習会を修了した者であって、養成施設の専任教員として3年以上の経験を有する者であること。</p> <p>(4) 領域「人間と社会」を教授する専任教員のうち1人は、当該領域の教育内容編成主任とし、専任教員の要件1)に該当する者であって介護教員講習会を修了した者又は専任教員の要件2)又は3)に該当する者であること。</p> <p>(5) 領域「介護」を教授する専任教員は(全員が)介護教員講習会を修了した者であること。</p> <p>(6) 領域「介護」を教授する専任教員のうち1人は、当該領域の教育内容編成主任とし、介護福祉士の資格を取得した後5年以上の実務経験を有する者であること。</p> <p>(7) 領域「こころとからだのしくみ」を教授する専任教員のうち1人は、当該領域の教育内容編成主任とし医師、保健師、助産師又は看護師の資格を取得した後5年以上の実務経験を有する者であって介護教員講習会を修了した者であること。</p> <p>(8) 領域「医療的ケア」を教授する教員は医療的ケア教員講習会修了者等であって、かつ、医師、保健師、助産師、看護師の資格取得後5年以上の実務経験を有する者であること。</p> <p>(9) 専任の事務職員がいるか。 (社会福祉士介護福祉士学校指定規則第5条第16号)</p>	<p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p>	<p>・教員一覧</p>																																																																																		
<p>4 教育に関する事項 (1) 介護福祉士学校の教育の内容は以下の内容以上であるか。(該当する課程の要件を満たすこと。) (社会福祉士介護福祉士学校指定規則別表第4)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">領域</th> <th rowspan="2">教育内容</th> <th colspan="3">時間数</th> </tr> <tr> <th>第1号学校</th> <th>第2号学校</th> <th>第3号学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">人間と社会</td> <td>人間の尊厳と自立</td> <td>30以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人間関係とコミュニケーション</td> <td>30以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>社会の理解</td> <td>60以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人間と社会に関する選択科目</td> <td></td> <td></td> <td>15</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>240</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">介護</td> <td>介護の基本</td> <td>180</td> <td>180</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション技術</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>生活支援技術</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>介護過程</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>介護総合演習</td> <td>120</td> <td>60</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>介護実習</td> <td>450</td> <td>270</td> <td>210</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">こころとからだのしくみ</td> <td>発達と老化の理解</td> <td>60</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>認知症の理解</td> <td>60</td> <td>30</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>障害の理解</td> <td>60</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>こころとからだのしくみ</td> <td>120</td> <td>60</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>医療的ケア</td> <td>医療的ケア</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>1,850</td> <td>1,220</td> <td>1,205</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記教育内容は、介護福祉士学校の設置及び運営に係る指針別表1(第1号学校)、別表2(第2号学校)、別表3(第3号学校)以上であること。</p> <p>(2) 実際の授業時間数が指定規則で定める時間数未満となっていないか。</p> <p>(3) 実際の授業時間数が学則で定める時間数未満となっていないか。</p> <p>(4) 教科目毎の学生の出席状況が出席簿等により管理されているか。 (介護福祉士学校の設置及び運営に係る指針(6-(8)))</p> <p>(5) 各科目の出席時間数が指定規則に定める時間数の3分の2(介護実習については5分の4)に満たない者について当該科目の履修の認定をした事例はないか。また、単位認定について学則等に明記されているか。 (介護福祉士学校の設置及び運営に係る指針(6-(4)))</p> <p>(6) 不適切な合同授業、合併授業はないか。 (介護福祉士学校の設置及び運営に係る指針(8-(4)))</p>	領域	教育内容	時間数			第1号学校	第2号学校	第3号学校	人間と社会	人間の尊厳と自立	30以上			人間関係とコミュニケーション	30以上			社会の理解	60以上			人間と社会に関する選択科目			15		合計	240			介護	介護の基本	180	180	180	コミュニケーション技術	60	60	60	生活支援技術	300	300	300	介護過程	150	150	150	介護総合演習	120	60	60	介護実習	450	270	210	こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	60	30	30	認知症の理解	60	30	60	障害の理解	60	30	30	こころとからだのしくみ	120	60	60	医療的ケア	医療的ケア	50	50	50		合計	1,850	1,220	1,205	<p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p>	<p>・教育課程表 ・シラバス</p> <p>・出勤簿 ・出席簿 ・講義録 ・成績認定 ・会議記録</p>
領域			教育内容	時間数																																																																																
	第1号学校	第2号学校		第3号学校																																																																																
人間と社会	人間の尊厳と自立	30以上																																																																																		
	人間関係とコミュニケーション	30以上																																																																																		
	社会の理解	60以上																																																																																		
	人間と社会に関する選択科目			15																																																																																
	合計	240																																																																																		
介護	介護の基本	180	180	180																																																																																
	コミュニケーション技術	60	60	60																																																																																
	生活支援技術	300	300	300																																																																																
	介護過程	150	150	150																																																																																
	介護総合演習	120	60	60																																																																																
	介護実習	450	270	210																																																																																
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	60	30	30																																																																																
	認知症の理解	60	30	60																																																																																
	障害の理解	60	30	30																																																																																
	こころとからだのしくみ	120	60	60																																																																																
医療的ケア	医療的ケア	50	50	50																																																																																
	合計	1,850	1,220	1,205																																																																																

介護福祉士学校自己点検表

	点検項目	判定	確認書類
<p>5 医療的ケアに関すること (介護福祉士学校の設置及び運営に係る指針(9の2-(1)~9の2-(4)) (1) 基本研修(講義)は、休憩時間を除いた実時間で50時間以上実施しているか。 (2) 医療的ケアの演習は、医療的ケアの種類に応じて、以下の回数以上の演習を実施しているか。 また、併せて救急蘇生法演習についても1回以上実施しているか。 ア 喀痰吸引 (ア)口腔 5回以上 (イ)鼻腔 5回以上 (ウ)気管カニューレ内部 5回以上 イ 経管栄養 (ア)胃ろう又は腸ろう 5回以上 (イ)経鼻経管栄養 5回以上 (3) 実地研修の回数は、医療的ケアの種類に応じて、以下の回数以上実施しているか。 ア 喀痰吸引 (ア)口腔 10回以上 (イ)鼻腔 20回以上 (ウ)気管カニューレ内部 20回以上 イ 経管栄養 (ア)胃ろう又は腸ろう 20回以上 (イ)経鼻経管栄養 20回以上 (4) 実地研修先の施設は実地研修を安全に実施するために、以下の要件を満たしているか。 ・喀痰吸引を必要とする者等の書面による同意があるか。 ・関係者による連携体制を確保しているか。 (5) 医療的ケアの講義及び演習を修了した学生以外に実地研修を行わせていないか。</p>	<p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p>		
<p>6 実習に関する事項 (1) 実習施設として不適切な施設を実習施設としていないか。 (昭和62年厚生省告示第203号) (2) 実習時間数が指定規則で定める時間数以下となっていないか。 (3) 実習時間数が学則で定める時間数以下となっていないか。 ※各学生が実習を行った時間数が実習記録等により確認することができるか。 (4) 介護実習Ⅱの実習時間数は介護実習の総時間数の3分の1以上となっているか。 (社会福祉士介護福祉士学校指定規則第5条第14号) (5) 実習指導者は以下の要件を満たしているか。(1)、2)すべての要件を満たすこと。 (社会福祉士介護福祉士学校指定規則第5条第14号) 1)介護実習Ⅰの実習施設に該当する施設 介護福祉士の資格を有する者又は介護職員として3年以上の実務経験を有する者 2)介護実習Ⅱの実習施設に該当する施設 介護福祉士の資格を取得した後3年以上の実務経験を有する者であって、実習指導者講習会を修了した者 [経過措置] ○当分の間は、以下の者を実習指導者とすることができる。 iii)平成21年3月31日までに全国社会福祉協議会が行う実習指導者特別研修課程を修了した者 (6) 一つの介護実習施設等における同時に実習を行う学生等の受入人数は、実習指導者の員数に5を乗じて得た数を上限としているか。 (社会福祉士介護福祉士学校指定規則第5条第15号) (7) 教員による巡回指導が適正に行われているか。 (介護福祉士学校の設置及び運営に係る指針(9-(8)、9-(9)))</p>	<p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> 適・否 <input type="checkbox"/></p>	<p>実習施設 一覧表</p>	

領域	教育内容	時間数		
		第1号学校	第2号学校	第3号学校
人間と社会	人間の尊厳と自立	30以上		
	人間関係とコミュニケーション	30以上		
	社会の理解	60以上		
	人間と社会に関する選択科目			15
	合計	240		
介護	介護の基本	180	180	180
	コミュニケーション技術	60	60	60
	生活支援技術	300	300	300
	介護過程	150	150	150
	介護総合演習	120	60	60
	介護実習	450	270	210
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	60	30	30
	認知症の理解	60	30	60
	障害の理解	60	30	30
	こころとからだのしくみ	120	60	60
医療的ケア	医療的ケア	50	50	50
	合計	1,850	1,220	1,205

※上記教育内容は、介護福祉士学校の設置及び運営に係る指針別表1(第1号学校)、別表2(第2号学校)、

別表3(第3号学校)以上であること。

必要な教育用機械器具	必要数	備考
実習用モデル人形	2	体位変換、清拭等実習に適したものを。
人体骨格模型	1	
成人用ベッド(ギャッジベッド含む)	生徒5人に1	手すりを備えること。
移動用リフト	1	床走行式、固定式、据置式いずれも可。
スライディングボード・マット	適当数	
車椅子	生徒5人に1	
簡易浴槽	1	移動できるもので、浴槽が硬質のもの。
ストレッチャー	2	
排せつ用具	適当数	ポータブル、尿器等
歩行補助つえ	適当数	
盲人安全つえ	適当数	普通用と携帯用
視聴覚機器	適当数	
障害者用調理器具・食器	適当数	
和式布団一式	1	
吸引装置一式	適当数	
経管栄養用具一式	適当数	
処置台又はワゴン	適当数	
吸引訓練モデル	適当数	
経管栄養訓練モデル	適当数	
心肺蘇生訓練用器材一式	適当数	
人体解剖模型	1	全身模型とし、分解数は問わない。

必要な教育用機械器具	必要数	備考
実習用モデル人形	2	体位変換、清拭等実習に適したもの。
人体骨格模型	1	
成人用ベッド(ギャッジベッド含む)	生徒5人に1	手すりを備えること
移動用リフト	1	床走行式、固定式、据置式いずれも可
スライディングボード・マット	適当数	
車椅子	生徒5人に1	
簡易浴槽	1	移動できるもので、浴槽が硬質のもの。
ストレッチャー	2	
排せつ用具	適当数	ポータブルトイレ、尿器等
歩行補助つえ	適当数	
盲人安全つえ	適当数	普通用と携帯用
視聴覚機器	適当数	テレビ、ビデオ、OHP、プロジェクター等
障害者用調理器具・食器	適当数	
和式布団一式	1	
吸引装置一式	適当数	
経管栄養用具一式	適当数	
処置台又はワゴン	適当数	
吸引訓練モデル	適当数	
経管栄養訓練モデル	適当数	
心肺蘇生訓練用器材一式	適当数	
人体解剖模型	1	全身模型とし、分解数は問わない。